

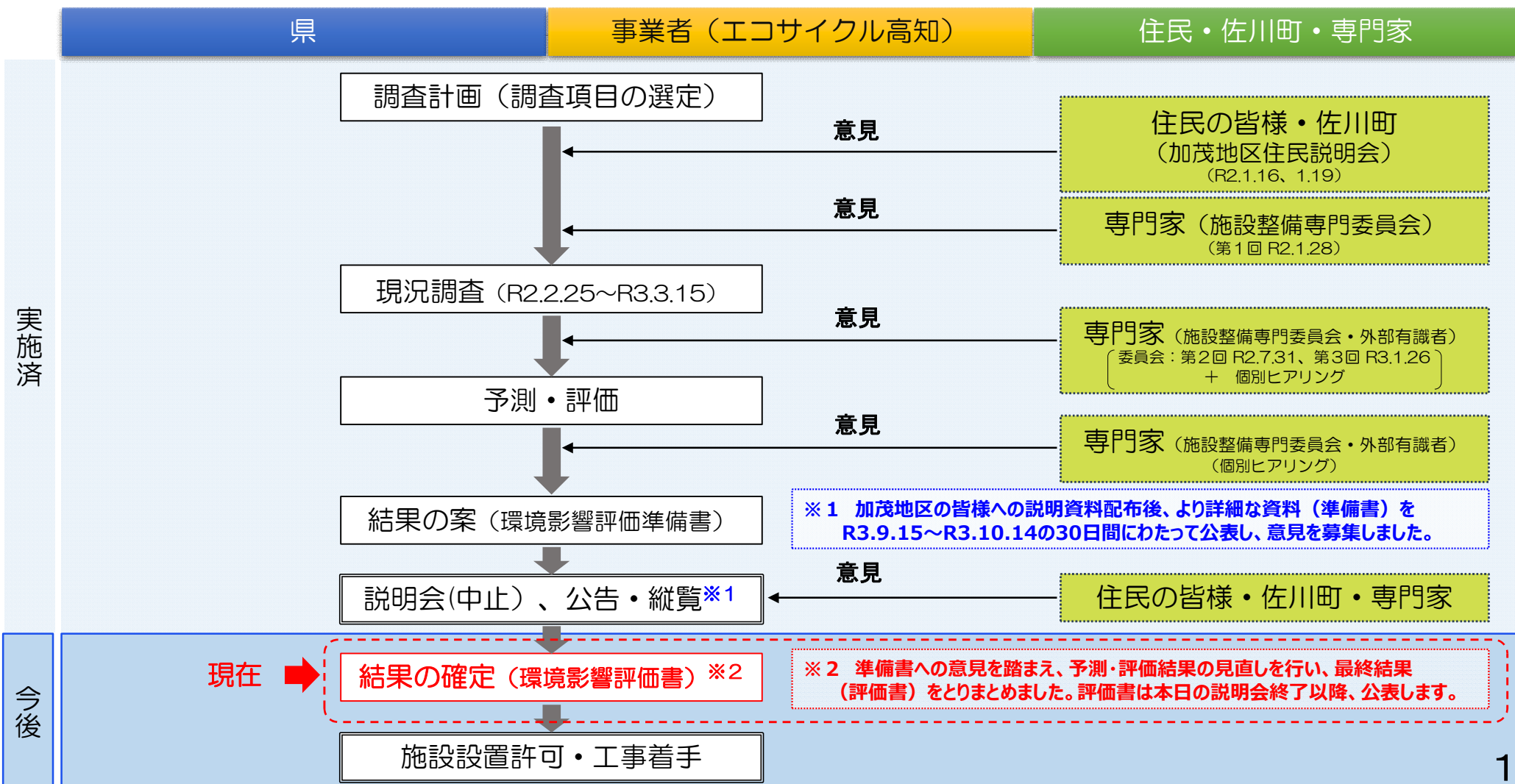
環境影響評価について

令和 3 年 12 月
高知県、（公財）エコサイクル高知

環境影響評価とは

○「環境影響評価」とは、開発事業等を実施する際に、その事業が周辺環境に及ぼす影響を調査・予測・評価し、その内容について住民の皆様や専門家等のご意見をお聴きし、環境保全について適正な配慮をするための一連の手続です。

本事業における環境影響評価の手続 ※法令の手続を参考に自主的に実施



環境影響評価項目

○ 施設整備の事業特性、地域特性及び専門家からの意見を踏まえ、下表の項目について行った調査結果をもとに、準備書及び評価書として予測・評価の結果をとりまとめました。

環境要素の区分			影響要因						
			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
			建設機械の稼働	に事に資材、用い伴るう車副機、両産及の物運連搬工	造成等の施工	最終処分場の存在	稼埋立・覆土用機械の稼働	浸出水処理設備の稼働	運搬物に用い及び覆土材の
大気環境	大気質	二酸化窒素	◎	◎				◎	
		浮遊粒子状物質	◎	◎				◎	
		粉じん	◎	◎			◎	◎	
	騒音	◎	◎			◎	◎	◎	
	振動	◎	◎			◎	◎	◎	
悪臭	悪臭							◎	
水環境	水質	水の濁り			◎				○
		水の汚れ							○
		有害物質等							○
地下水	地下水の流れ			◎	◎				
土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質			◎	◎			
	土壌	土壌汚染			○				○
動物		重要な種及び注目すべき生息地			◎	◎		◎	
植物		重要な種及び群落			◎	◎		◎	
生態系		地域を特徴づける生態系			◎	◎		◎	
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				◎			
人と自然との 触れ合いの 活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場							
廃棄物等		建設工事に伴う副産物							
温室効果ガス等		メタン							
		二酸化炭素							
放射線の量		放射線の量 (粉じん等の発生に伴うもの)	○	○			○	○	
		放射線の量 (水の濁りの発生に伴うもの)			○				
		放射線の量 (建設工事に伴う副産物に係るもの)			○				

◎：予測・評価項目として選定するもの

○：予測・評価項目として選定せず、現地測定のみ実施するもの

※ 本施設は浸出水（浸出液）処理水の放流を行わない、無放流循環型の処分場です。

準備書の縦覧結果について

- 令和3年9月15日～10月14日までの30日間、準備書の縦覧を行い、意見を募集しました。
 - 意見提出者数：6名（地域住民1名、高知県廃棄物処理施設設置審査会の委員5名）
 - 環境保全の見地からの意見又は質疑：19件

【準備書に対する主なご意見】

意見又は質疑の要旨	回 答
工事期間中の環境モニタリングは行うのか。進入道路の建設工事施工時には、大気質、騒音、振動について実施してもらいたい。	進入道路の建設工事期間中には、大気質、騒音、振動の環境モニタリングを併行して実施する予定です。 また、切土・盛土を伴う造成工事を実施する際には、周辺の河川の濁り（SS、濁度）についても、モニタリングを行う予定です。
工事期間中の地下水位に与える影響について、概算で構わないので半定量的な予測・評価を行ってほしい。	掘削に伴い発生する地下水の防災調整池（沈砂池）への排除量と建設予定地の地山が保有する地下水量を概算比較し、地下水位に及ぼす影響について予測を行った結果、改めて影響は極めて小さいと予測されました。
予測結果、環境保全措置の検討、事後調査の必要性、評価結果をとりまとめた総括表を作成してほしい。	ご意見のとおり総括表を作成し、評価書に反映しました。

環境保全措置の見直しについて（準備書から評価書へ）

- 植物重要種（次ページ参照）に係る環境保全措置について、（公財）高知県牧野記念財団の協力のもと、環境保全措置（移植又は播種）の具体的手法の検討や代替地の探索を行っていたところ、建設予定地周辺の**改変区域外のエリア**において、影響は大きいと予測されていたヒナノキンチャクの大規模な群落を確認。
- このことを踏まえ、植物の専門家にその他の重要種を含め、現地の状況を改めてご確認いただいたうえで意見聴取を行い、「準備書段階で保全措置の必要性があった全5種への個別の環境保全措置は不要」と評価結果の見直しを行いました。

<参考> 準備書段階において保全措置の必要性が示されていた植物重要種（全5種）



ヒナノキンチャク

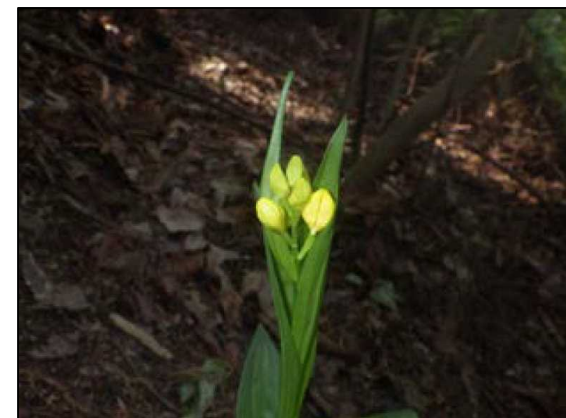
見直し



改変により一部が消失しますが、専門家を交えた詳細な調査の結果、改変区域外に確認された大規模な群落の存在により、建設予定地周辺の種は保存されると判断されたことから、個別の環境保全措置は行わない方針に評価を見直しました。



クマガイソウ



キンラン



エビネ属



スイカズラ属

見直し



専門家を交えた詳細な調査の結果、改変等による影響を受けないと判断されたことから、個別の環境保全措置は行わない方針に評価を見直しました。

○ 評価書では、現地調査結果をふまえた周辺環境に及ぼす影響の予測・評価結果をまとめています。

■ 環境への影響はない又は影響は極めて小さいと予測された項目

○ **大気質、振動、悪臭、地形及び地質、植物、生態系、景観**の7項目

評価結果 環境への影響は、回避又は低減が図られる。

■ 環境への影響は小さい又は影響は大きいと予測された項目

○ **騒音、水質、地下水、動物**の4項目

騒音

[予測結果：影響は小さい]

- ・ 進入道路（国道交差点付近）の建設騒音の影響により、無対策の場合、直近の民家の地点で基準等をわずかに超過すると予測。



防音シートのイメージ

[実施する環境保全措置]

- ・ **防音シートの採用**
(当該措置により基準等を満足)

動物（1種）



サシバ

[予測結果：影響は大きい]

- ・ 工事期間中の建設騒音や供用期間中の廃棄物等運搬車両の走行騒音により、繁殖活動への影響が懸念されると予測。

[実施する環境保全措置]

- ① 繁殖期を避けた施工
 - ② 段階的な施工（馴らし）
防音シートの採用
- ①、②は対策の優先順位

水質／地下水

[予測結果：影響は小さい]

- ・ 工事の実施に伴い、建設予定地東側の谷川において、無対策の場合、水の濁り（SS）が基準等を超過すると予測。
- ・ また、濁水の一部が地下水に流入し、影響を及ぼす可能性が推測。



沈砂池のイメージ

[実施する環境保全措置]

- ・ **沈砂池の設置**
(当該措置により基準等を満足)

評価結果

適切な環境保全措置を講じることで、環境への影響は、回避又は低減が図られる。

※ 環境保全措置を実施する項目については、工事期間中に環境モニタリングを実施し、保全措置の効果を確かめながら工事を行う計画です。

お問い合わせ先

○ 公益財団法人 エコサイクル高知 佐川町事務所

電話：0889-22-4744

メール：info@ecokochi.or.jp

〒789-1201 高岡郡佐川町甲1650番1号

○ 高知県 林業振興・環境部 環境対策課

電話：088-821-4595

メール：030801@ken.pref.kochi.lg.jp

〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7番52号